

＜特に改善が必要な学校安全の取組について＞

学校安全保健課安全室

（１）学校施設における安全点検の推進について

- 令和3年4月、宮城県の小学校において防球ネットの木製の支柱が折れ、児童1名が死亡する事故が起きました。学校での事故を防止するため、安全点検は目視だけでなく負荷をかけることや実際に動かし、動作を確認する等の工夫が重要です。

◆**体育施設については、毎月の点検をお願いします。**

（２）登下校中の安全について

- 令和3年6月には八街市において、下校中の児童がトラックにはねられ、児童2名が死亡する事故が発生しました。通学路や学区周辺の点検及び巡回は各校で行っていますが、年度当初に実施し、児童生徒の安全確保に努めましょう。また、交通安全教室等を活用し、児童生徒が自らの命を守れるよう、安全教育の推進が必要です。

◆**通学路・学区周辺の安全点検については、年度初めに実施しましょう。**

◆**交通安全教室等を活用し、安全教育を推進しましょう。**

（３）風水害への対応について

- 令和元年に千葉県を襲った台風・大雨では、停電や断水による休業や、通信機器が遮断されたことにより児童生徒の安否等の確認や学校からの連絡ができない等の課題がありました。近年、気象災害による大きな被害が発生しており、今後も気候変動による水害や土砂災害等の頻発化・激甚化が懸念されていることから、風水害による被害を想定することは喫緊の課題となっています。

◆**風水害や浸水・土砂災害を想定し、必要に応じて防災計画や防災マニュアル等の修正を図りましょう。**

（４）校外における災害対策について

- 災害はいつ何時起こるかわかりません。平成30年の大阪北部地震では、登校中の児童が倒壊したブロック塀の下敷きになる痛ましい事故が起きました。登下校中に地震や大雨等の災害が発生することを想定し、児童生徒がどのように行動したらよいかルールを決めておくことが重要です。また、校外学習等で学校を離れる際には災害発生時の対応を実施計画に位置付けましょう。

◆**登下校中や校外活動中に被災することを想定し、避難訓練や安全教育に取り組みましょう。**